

横根山山行報告

【山行日】2020年 6月 3(水) 晴れ時々曇り

【集 合】栃木市運動公園P AM 7:30

【費 用】マイカー2台 : 800円

【メンバー】CL:鈴木、SL大西、安西、石田、石澤、島田、関、福島、福田ケ、福田タ、松葉、渡辺

【コースタイム】栃木市運動公園 P7:30=

古峰ヶ原湿原 P8:40/8:55~三枚石 9:50/10:00~

方塞山 10:15~横根山 11:10/11:20~

ハイランドロッジ 11:40/12:25~方塞山 13:00~

三枚石 13:20~古峰ヶ原湿原 13:55/14:05=

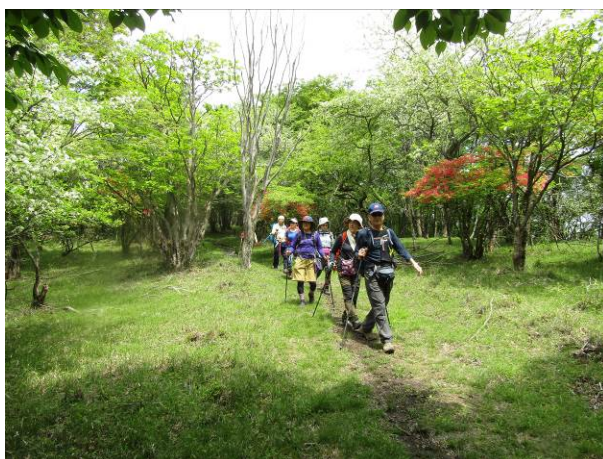
町の駅「しもかすお」14:55/15:10=栃木市運動公園 P15:30

古峰ヶ原湿原から横根山に登りたいというリクエストがあり、ヤマツツジの花を期待して今回のコースを計画した。いつものように栃木市運動公園を出発し、県道32号線を北上し大越路トンネルを抜



け、町の駅「しもかすお」でトイレを済ませる。ここから思川沿いに県道15号線を進み、粕尾峠から右折して県道58号線を通って古峰ヶ原湿原駐車場に着く。駐車場は10台位止められ、東屋があるがトイレは無い。準備を整え、ストレッチを済ませたら出発する。湿原から標識に従って平坦な道を進み、少し登ると一の鳥居が立ち全員の集合写真を撮る。ここでのんびり組の3人と別れ、8人が先行して三枚石を目指す。このコースは三枚石にある金剛山奥宮の参道として歩か

れ、敷き石で整備されているがほとんどが雨に流され、脇に登山道が付けられている。緩やかに登る登山道は、ミズナラやシラカバ、カエデ、等の自然林の中を歩き新緑がとても美しい。二の鳥居を過ぎると岩がゴロゴロする登山道となり、岩の間を縫うように登って行く。ヤマツツジやズミの花が見られるようになり、傾斜が緩やかになると平坦地の天狗の庭に出る。ここで小休止し、衣服調整と水分を補給する。さらに緩やかな尾根道を登ると1377, 7mピークの入口を過ぎ、ヤマツツジやズミの中を進むと



三枚石に着く。大きな岩が3枚斜めに積み重なっており、その前に金剛山奥宮が祀られている。奥宮の前は広場になっており、休憩を取って冷たいイチゴゼリーをいただく。

ここからは南の尾根を進んで方塞山へ向かい、この先のツツジ平のヤマツツジが楽しみである。新緑の尾根を緩やかに下り、平坦になった所がツツジ平で、ヤマツツジの花は咲いていたが今年



は花付が良くないようだ。それでも初めて見る人にとっては素晴らしく、ウワ～綺麗と朱色の花に酔いしれていた。ツツジのトンネルにはなっていないが、両側に咲くヤマツツジは見事で目を楽しませてくれた。カラマツ林の中を緩やかに下り、登り返した所が方塞山で分岐になっている。横根山へは分岐を左に進み、前日光牧場の牧柵に沿って下って行く。右の牧場側は視界が開け、左の山側は新緑の自然林とヤマツツジやズミの花が疲れた体を癒してくれる。20日前に歩いた時からすると緑が数段

濃くなり、牧草も伸びて山全体が緑に包まれ初夏の装いに変っていた。途中の開けた場所にベンチがあり、景色を楽しみながらキーウイフルーツをいただく。アップダウンを繰り返しながら予定より早く横根山に着き、山頂の東屋で大休止する。皆さんには熱いコーヒーを淹れ、我輩と徳ちゃんは熱いお茶、饅頭やカリントウ、煎餅など食べ体を休める。山頂から井戸湿原に向かって少し下ると分岐になり、標識に従って右にハイランドロッジに向かう。一旦牧場内の道路に出て、ハイランドロッジ手前から右側の遊歩道を歩きハイランドロッジに着く。丁度のんびり組の3人も到着し、トイレを済ませたらロッジ裏山のベンチとテーブル



に移動しランチタイムとする。キノコ汁を温め、チャーシューやフキの煮物、ジャガイモとイカの煮つけ等、沢山の御馳走が並び、豪華なランチに大満足。ところが食べ終わる頃雨がポツリポツリ



りと落ちてきた。お茶を飲んだら急いで後片づけをして、下山の準備をする。

ここから3人は方塞山から牧場入口へ向かい、我々は方塞山から往路を戻り古峰ヶ原湿原へ向かう。雨は大したことなく止み、少し安心して方塞山へ登って行く。方塞山からはほとんど登りが無いので、皆さんの会話も復活し賑やかに下って行く。三枚石で小休止し、その先の1377, 7 mピークの三角点を確認し、一気に古峰ヶ原湿原まで下る。湿原東屋で靴を履き替えたら車に

乗り、3人が待つ牧場入口に向かった。牧場入口で3人をピックアップしたら帰路につく。途中、町の駅「しもかすお」に寄り、トイレを済ませお土産をゲット。我輩は7日の平栗山山行のため、コシアブラをゲットする。皆さんもそれぞれお土産を買い、予定通り栃木市運動公園に帰着した。